

2月市議会定例会

一般質問

3月3日(火)から3月5日(木)の3日間の日程で、11人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介します。各議員の全ての質問内容はホームページでご覧になれます。



質問内容詳細

3月3日(火)

自民クラブ(代表質問)
伊藤 優子議員(40分)



(1)財源の確保について

①にいはま営業本部

問 市長自らが商談会などに参加し、トップセールスを行った結果の売り上げは。

また、2025年の成果目標額を12億円としているが、現時点での達成見込みについて伺う。

答 現時点での主な実績として、ふるさと納税の寄付件数

は約1万5千件、寄付額は約3億5千万円、企業版ふるさと納税の件数は30件、寄付額は約3千万円、ものづくりブランド事業の受注額は、現在集計中であり、事業者からの回答分のみの額については約3億円である。

また、ふるさと納税については、主力となる返礼品が少なく、競争の激しいふるさと納税市場において寄付額の伸び悩みが続いており、全体として目標達成は厳しいものと見込んでいる。

②ふるさと納税 ③宿泊税の導入

(2)子ども・子育て支援について

①新居浜市こども計画 ②産前産後支援

(3)新居浜市国際化基本指針について

(4)新居浜市上下水道耐震化計画について

問 本市の基幹管路について、20年間で耐震化を完了させる根拠および事業費総額と財源内訳はどのように見込んでいるか。

答 耐震化が必要となる管路の延長が約18キロメートルで、事業費総額は約50億円と多額の費用が必要である。工事発注、監

督には一定数の技術職員が必要のため、現実的に対応可能な更なる延長を年間約1キロメートル、事業費は約2億5千万円と想定し、期間を20年間としている。財源については、水道料金収入に加え、国の交付金も最大限活用し財源確保に努める。

(5)循環型社会の実現について

①新居浜市ごみ処理基本計画 ②次期ごみ処理施設

(6)小中学校体育館空調整備について

(7)東予・洋風焼き鯛めしプロジェクトについて

公明党議員団(代表質問)
高塚 広義議員(40分)



(1)市の財政について

(2)福祉行政について

①慢性閉塞性肺疾患の啓発及び受診勧奨 ②高齢者支援

問 高齢者人口がピークに達する一方で、制度の担い手や介護人材不足などで医療・介護崩壊が危惧される2040問題。解決すべき課題の一つと考えるケア人材の確保について、取り組みと考えを伺う。

答 取り組みについては、県の地域医療介護総合確保基金を活用し、市内法人に対する介護職員宿舎の施設整備補助や賃金改善に直結する介護職員等処遇改善加算の取得促進が重要であることから、介護事業所などに対し、加算取得に向けた指導、助言に努めている。

本市においても、75歳以上の人口がピークを迎える令和10年に向け、介護サービス現場の担い手不足は喫緊の課題であると認識しており、今後も支援のさらなる充実を図るなど、人材確保に向けた対策に取り組んでいく。

③带状疱疹ワクチン接種の助成 ④持続可能な自治会活動について

(3)不登校支援について

(4)持続可能な自治会活動について

問 近年、自治会加入率の低下や会員の高齢化、役員のなり手不足や地域活動への参加者の減少もあり、将来の持続的な自治会運営に懸念の声を伺っている。現状の認識と対策についての所見を伺う。

答 自治会加入率低下の背景には、少子高齢化や核家族化の進展、価値観の多様化など、多くの要因が重なり、結果として地

域コミュニティへの興味、関心の低下につながっていると考える。共助の精神や地域防災力の維持の観点からも大きな課題と認識している。また、ご指摘のあった住民ニーズに合わせた魅力的な活動の提供、デジタルツールの積極的な活用、若年層や現役世代の参加を促す工夫は、対策において、いずれも重要な視点であると考えている。

(5) 市民後見人制度について
 (6) 紙おむつのリサイクルについて
 (7) 新居浜市弓道場について

みらい新居浜（代表質問）
 合田晋一郎議員（40分）



(1) 令和8年度施政方針について
 ① 基本姿勢
 ② 持続可能なまちづくりの推進

問 人口減少が地域の活力に影響する中、「長期総合計画」と「総合戦略」を一体的に進める新しい枠組みを整えているが、令和8年度に特に力を入れて取り組む人口減少対策の方向性について伺う。

答 子どもと家庭に寄り添う施策を推進し、将来にわたり選ばれるまちを目指し、これまでの

取り組みを着実に継続しつつ、さらに子育て支援を充実させるため、ヤングケアラー等支援連携事業や小学校サポートルームや学校現場への支援を強化しようと考えている。

③ 未来を創り出す子どもが育つまちづくり
 ④ 健康で、いきいきと暮らし、支えあうまちづくり
 ⑤ 活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまちづくり

問 住友企業との連携は、本市の発展において歴史的にも極めて重要で、協力関係は地域の未来を左右する大きな要素だが、これまで築いてきた連携を今後どのように深めていくのか伺う。

答 これまでの住友企業との連携状況としては、住友各社の本社を訪問するトップミーティング、経済懇談会を実施するなど、情報交換を重ね、連携を深めている。さらに、令和7年度には、ものづくり技術シーズ展示会を開催するなど、住友企業と市内中小企業との連携強化に資する施策を展開している。

別子銅山開坑以来、発展の過程で育まれてきた本市と住友グループ企業の共存共栄という関係性はこれからも変わることなく、未来へつなぎたいため、これまで以上に情報交換を密に行うなど、連携を強化し、互いの信頼性の深化に努める必要があると考えている。

⑥ 安全・安心・快適を実感できるまちづくり
 ⑦ 人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり
 ⑧ 人と自然が調和した快適に生活できるまちづくり

3月4日(水)

無党派

小野志保議員（10分）



(1) 防災行政について
 ① 耐震エレベーター
 ② エレベーター用防災キャビネットの導入

(2) 飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助事業について

① ガバメントクラウドファンディング
 ② 補助金額の拡充

自民クラブ
 仙波憲一議員（30分）



(1) 地域包括支援センターと介護認定審査会について

問 県との権限不均衡を踏まえ、介護保険料に影響する地域包括支援センターの体制強化と制度改革を市としてどう進めるのか。介護認定審査会の充実は、市の財政負担となる。

答 地域包括支援センターの機能強化には、継続的で安定した財政措置が不可欠だが、現在は市町村の負担が大きく、国・県の財政関与は限定的であるため、国・県の財政支援の拡充や市町村の財政負担が過度にならない制度設計の見直しなどについて、機会を通じて制度改善に向けた働きかけを進める。

介護認定審査会については、効率的な運営を行っており、今後も委員体制および事務局体制の適正な維持に努め、円滑かつ公正な審査運営を確保する。

(2)窓口の混雑緩和と行政DXの抜本的推進について

(3)防災士について

問 防災士の役割や位置付けの明確化、研修体系の整備、平時の活動の拡充における本市の考えを伺う。

答 防災士は地域の防災活動の中心的役割を担う人材で、地域防災計画において各種防災活動でリーダーとなってほしい存在と位置付けている。

研修については、スキルアップ研修を開催しており、今後も研修内容を充実させ、継続したいと考えている。

平時からの防災士の地域活動の拡充については、地域との信頼関係を築き、災害時に迅速な対応ができるよう、防災士が地域の防災啓発活動などに積極的に参加できる環境づくりに努めていく。

(4)新居浜市シルバー人材センターが立地する土地について

無党派

片平 恵美議員 (10分)



(1)自衛官募集事務に係る個人情報提供について
(2)水道事業と使用者への支援について

公明党議員団
藤原 雅彦議員 (30分)



(1)令和8年度市政運営について

問 昨年の万博太鼓台派遣や新浜レオンさんの紅白出場を受け、本年以降、これらを観光客誘致、ふるさと納税増加、企業誘致につながる戦略はあるのか。また、にいはま営業本部との連動はどのように図るのか。

答 令和8年度は、万博のレガシーを生かした太鼓祭りのプロモーションを実施するとともに、観光大使の皆さんの協力を得ながら、市の魅力を発信することで、観光客の誘客につなげていく。ふるさと納税に関しては実施体制を全体的に見直し、委託事業者と連携して返礼品の新規開拓や販売促進などを強化し、寄付額増加に取り組みたい。また、観光誘客、ふるさと納

税、企業誘致のいずれも、営業本部が中心となって力を入れる必要があると考えている。担当課の取り組みに加え、営業本部職員が部局横断的な営業活動として関わり、さらに効果が期待できる取り組みについては、本部長（市長）がトップセールスを行い、積極的に推進していく。

(2)こども・子育て複合施設について

問 こども・子育て複合施設整備により、本市における合計特殊出生率や、出生数をどの程度改善させる見込みか。具体的な数値目標は設定されているのか。伺う。

答 第六次長期総合計画において、令和12年の出生数の目標値は、650人に設定しているが、合計特殊出生率や出生数は、婚姻や就労、経済情勢、価値観など多様な要因の影響を受けるものであるため、本施設の整備のみを要因として、指標を改善することは難しいと考えている。

(3)別子山区森林整備事業におけるJークレジットの創出について

(4)妊産婦・乳幼児専用の避難所について

(5)移住促進施策について
(6)法定養育費制度について
(7)水俣条約について

3月5日(木)

自民クラブ
大條 雅久議員 (30分)



(1)防犯灯について

①防犯灯が故障した際の対応
②防犯灯の寿命

③防犯灯の維持、整備の計画

問 市内の本市管理のLED防犯灯約9100基は、設置から12年目以上を迎えている。LED防犯灯の寿命は、約10年から15年である。今後のLED防犯灯の維持・管理についての対策について伺う。

答 防犯灯の不具合が報告された際には、原因を分析するとともに、定期的に照度の測定を実施するなど、防犯灯の状態把握に努めている。今後も電力会社や電気工事業者と連携し、適切な保守管理を継続する。

また、今後の整備計画については、不具合報告件数の推移や照度低下の状況などのデータを



←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく!

踏まえ、市民の安全確保を最優先に、更新、整備を行うべき適切な時期や方法を検討しながら進めていく。

(2)不法投棄への対応について

①市民の役割

②市役所、警察の役割

③不法投棄防止の啓発と予防

(3)まちづくりタウンミーティングについて

①開催回数

問 古川市長は、地域コミュニティを支援している自治会の皆さんからの提案や困りごとを直接伺うのは3年に一度でよいと考えられているのか。

答 令和7年度は、市長就任後初めての開催であり、市長が市政の方向性や重点事業を直接伝え、地域の実情や課題を確かめる機会とするため、全18校区・地区で開催し、地域住民と対話を通じて地域課題に対する共通認識を形成することができ、意義深い機会になったと考える。令和8年度以降については、3年間で全校区を巡回してきた過去の実績を踏まえ、3年間をかけて全市を巡回するとともに、希望する校区には個別に対応することも検討している。

また、多様な世代からの意見集約を目指し、高校生や各種団体との意見交換なども予定している。

②地域コミュニティ支援員

(4)地籍調査について

①現在の進捗状況

②今後の計画

③角野地区の地籍調査

無党派

井谷 幸恵議員 (10分)



(1)小学校サポートルーム活用事業費について

①支援員の労働条件と資格

②サポートルームの環境づくり

(2)小学校の教材費の会計業務について

①現状

②今後の方向性

みらい新居浜

野田明里議員 (20分)



(1)少子化対策と妊娠・出産・子育て環境の整備について

①周産期医療体制の強化

②子育て支援の充実と利便性

向上

(2)防災と地域のつながりについて

①つながりを育てる新たな地域コミュニティの在り方

②主体性を育む減災教育の推進

自民クラブ

小野 辰夫議員 (20分)



(1)音楽でつくる新しい新居浜について

(2)小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画について

(3)潜在的な待機児童の解消について

(4)スマホ市役所について

(5)こども・子育て複合施設について

(6)児童センター、児童館について

お知らせ

◎会議録の公開について

2月市議会定例会の一般質問の詳しい内容は、市議会ホームページにて公開しています。また、本会議の会議録のほか、市議会の概要や委員会の会議録など、市議会に関するさまざまな情報をご覧ください。

6月市議会定例会

時間 午前10時開会
本会議はCATV112チャンネルで生中継と録画放送、市議会ホームページで動画配信を行っています。

開催日	内容
6月8日(月)	議案上程、説明、質疑、委員会付託
6月16日(火)	一般質問 田窪 秀道 議員 (30分)
	・ 黒田 真徳 議員 (30分)
	予算質疑(個人) 篠原 茂 議員 (30分)
6月17日(水)	一般質問 伊藤 義男 議員 (10分)
	・ 大條 雅久 議員 (30分)
	予算質疑(個人) 井谷 幸恵 議員 (10分) 加藤 昌延 議員 (10分) 河内 優子 議員 (30分)
6月18日(木)	一般質問 片平 恵美 議員 (10分)
	・ 渡辺 高博 議員 (30分)
	予算質疑(個人) 小野 志保 議員 (10分) 野田 明里 議員 (30分)
6月19日(金)	企画教育委員会開催 市民福祉委員会開催
6月22日(月)	経済建設委員会開催
6月25日(木)	委員長報告、討論、採決